



発行所 ● 中日新聞社  
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号  
〒460-8511 電話 052(201)8811

70 ANNIVERSARY

みなさまに支えられて70年

平安閣グループ

尾張 強 健 会 館

名古屋市中区三の丸一丁目6番1号  
〒460-8511

言葉  
中学生はできることがとても少ないのに、自分は  
何でもできるとうそぶき、反抗してしまつのだ  
反抗期の自分を分析する大橋蒼也さん 7面

スマホパソコンは  
中日新聞Web



2023年 7月25日(火)  
(令和5年) うま味調味料の日

# ゼラチン 肥料に再利用

## 大垣 中日本カプセル



岐阜県大垣市のサプリメント用カプセル製造「中日本カプセル」が、製造工程で発生するゼラチンの残りがすを「ゼライクル」と銘打ち、肥料などに再利用している。ロシアや中国産の化学肥料が高騰する中、農家からの引き合いが強まっている。

サプリメントのカプセル皮膜を型抜きした後のゼラチンは、動物の骨や皮に含まれるコラーゲンを原料とするため、産業廃

棄物として処理しなければなら

ず、同社では年間約二百トを約一千万円をかけて処理してきた。その際、温室効果ガスの一酸化二窒素が発生するため、二〇一一年ごろから再利用を探るよつに。温めると溶け、冷えると固まるゼラチンの性質を生かし、接着剤「にかわのり」の材料としてメーカーに売り出し始めた。

一九年には、国連の持続可能な開発目標(SDGs)に合わせ、開発部の須原渉部長(四)を中心に100%の再利用を模

## 「廃棄物 新たな商品に」

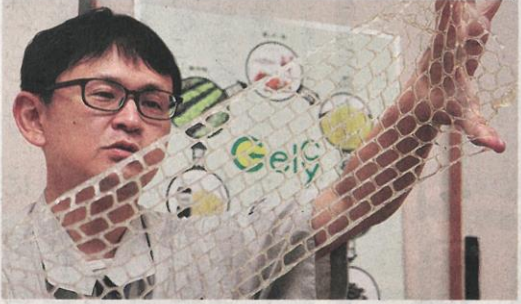
索。ゼラチンに窒素が多く含まれていることに着目し、肥料に活用することを考案した。

肥料メーカーから意見を募り、酵素分解液タイプと乾燥タイプの二種類を開発。ゼラチンの残りがすをそのまま販売する「ナチュラルタイプ」も合わせ、二一年秋に商品化にこぎつけた。現在、県内外の肥料メーカーや農家に出荷中だ。にかわのりへの活用分を含めたゼライクルの売上高は昨年、過去最高の約七百万円に達した。廃棄されるはずだったゼラチンの約七割を有効活用している計算だ。

農林水産省が進める二三年度の「みどりの食料システム法に基づく基盤確立事業」に認定され、肥料の効果を検証する実証実験を、今年六月から地元の農業高校とともにやっている。

肥料の製造拡大のため、専用工場を一年後に完成予定だ。「廃棄物として捨てられていたものが新たな商品になる」ということで、従業員の意識も変わってきたと須原さん。「肥料を包む専用カプセルを作る構想もある」と、伸びしろに期待を込める。

①ゼラチンを加工した「にかわのり」(左奥)や液状肥料(右奥)、乾燥肥料(手前) ②ゼラチンを肥料などに再利用する「ゼライクル」を進める須原渉さん(いずれも岐阜県大垣市の中日本カプセルで



(柳田瑞季)